



# 水と緑が魅せる心豊かな 庭園都市おかやまをめざして

## 1. はじめに

3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

今回の震災は、東日本の広範囲にわたり近年経験したことのない大きな被害をもたらし、国内はもとより世界規模での救援活動が繰り広げられました。

本市においても、全力で復旧、復興の支援をさせていただくとともに、「がんばろう日本! 岡山の元気をとどけよう」と題した岡山市民キャンペーンを展開し、被災地の子どもたちを招いたり、各種イベント、行事等の機会を活用して、東日本の物産販売や観光PR活動等を行っているところであり、被災地の日も早い復興を祈念し、被災された各都市に対し、今後ともでき得る限りの支援を行う所存です。

## 2. 庭園都市おかやまの実現にむけて

本市は、城下町として、また、県都として発展してきており、瀬戸大橋、岡山空港、山陽自動車道など広域高速交通網の結節点に位置します。医療、福祉、学術・研究や教育などの分野で質の高い都市機能が集積した人口70万人を有する中四国の拠点都市として、平成21年4月に全国18番目の政令指定都市に移行しました。

また、水と緑あふれる豊かな自然環境と「晴れの国」ともいわれる温暖で晴れの多い気候、自然災害の少なさなどが相まって、風光明媚で暮らしやすい都市となっています。さらには、マスクット、白桃等の果物や、さわら、カキ等の海産物など、四季折々の豊富な山海の幸にも恵まれています。

本市では、こうした特徴を活かしながら、中・長期的な都市づくりの指針である「岡山市都市ビジョン」に掲げる、「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」という都市像の実現を目指してまちづくりを進めているところです。

## 3. 「緑のボリュームアップ」

本市では「庭園都市」の実現に向けて、緑豊かな美しい街並みをつくるため、岡山らしい樹種の実験や緑陰道路の整備に努め、桃太郎大通り、市役所筋などの主要な街路や公園などの緑化を推進しております。

また、緑化推進重点地区における屋上・壁面緑化など、公共施設のみならず民有地の緑化を促進するため、各種イベント等の実施を通じて市民、事業者の協働にも取り組んでいるところです。

こうした取り組みの一環として、平成21年度からの10年間で公共空間に60,000本の樹木を植樹す

岡山市長 <sup>たか</sup> <sup>や</sup> <sup>しげ</sup> <sup>お</sup>  
高 谷 茂 男



る「緑のボリュームアップ」、本市の中心市街地を南北に貫く緑陰・親水空間である西川緑道公園を舞台とし、にぎわい創出と緑化啓発を目的とした官民協働のイベント等を展開する「西川にぎわい創出事業」等を推進しております。

#### 4. 「人にやさしい公共交通」

本市は、中四国における広域交通のクロスポイントに位置し、また、岡山空港から国内主要都市はもとより北京、上海、グアム等とも結ばれており、こうした広域交通網を活かした人・もの・情報の活発な交流を進めるとともに、都市内における公共交通の利用を促進し、さらに、自転車の利用環境を整えることにより、公共交通と自転車交通を中心とした人にやさしい総合交通システムの構築を目指し取り組んでいるところです。

具体的には、平成21年度に策定した「岡山市都市交通戦略」に基づき、バス交通等の利便性や分かりやすさの向上などの短期的対策から、JR吉備線のLRT化などの中長期的対策まで、一定のプログラムに沿って、各種の都市交通施策を総合的に推進しております。

また、温暖で雨が少なく、広大な平坦地を有する本市は、自転車利用に極めて適した都市であり、こうした特性を活かし、「自転車先進都市おかや

ま」の実現に向けて、自転車運転マナーの向上とあわせ、自転車レーンなど走行空間の整備、駐輪対策・放置自転車対策やコミュニティサイクルの導入など総合的な自転車施策にも取り組んでおります。

#### 5. おわりに

東南海・南海地震に加え東海地震が連動する3連動地震の危険性が指摘されるなか、液状化被害、津波被害等の被害が想定される本市においても防災・減災対策の抜本の見直しが求められております。

また、庁舎等の市有施設や橋梁等の耐震化、環状道路など遅れている基幹的インフラの整備などについても、これまで以上にスピード感をもって取り組んでいく必要があります。

今後、こうした都市の土台となるインフラ整備等を進めるとともに、都市ビジョンに基づく各種施策を総合的に展開することにより、すべての市民が安心して快適な生活を送ることができ、他都市や世界からも「岡山に行ってみたい、住んでみたい」と思われるような都市の実現を目指して取り組んでまいります。